

コロナ対策活用 ロゴ考案

静岡文化芸術大が、
芸術大 防護用品やゲームも

静岡文化芸術大が、「大学生が考える新しい生活様式対応デザイン」を同大ホームページで公開している。デザインで公開している。ダウンロードや印刷をして自由に利用でき、学生は家庭や店舗などで使用を勧めている。デザイン学部の2、3年生が授業の一環で感染症対策のアイデア

やロゴマークを考案した。ホームセンターなどで手に入る身近な材料を使った車いす利用者向けの飛まつ防護用品の作り方や、楽しみながら感染症対策を実践できるボードゲームなどを紹介している。ロゴマークは、「キープディスタンス」や「手を洗おう」などの

メッセージをかわいらしいイラストや文字などで分かりやすく表現した。ボードゲームを制作した3年生の北沢拓弥さん(21)は「コロナ禍で戸惑っている子どもたちのために考案した。家庭や授業などで使ってほしい」と話す。(浜松総局・土屋咲花)



学生が考えた飛まつ防護用品やロゴマーク
＝浜松市中区の静岡文化芸術大